

特定非営利活動法人日本都市計画家協会 北海道支部

全国まちづくり会議 2008 北海道 準備会議 議事概要

- 日 時 2007年5月16日(金) 18時00分～19時30分
会 場 北海道立道民活動センター(かでの2.7) 5階 510会議室
参加者 29名(会員16名、事務局1名)
議 題 1) 開会挨拶(NPO日本都市計画家協会 小林英嗣副会長・北海道支部長)
2) ミニ講演会(恵庭市長 中島興世氏)
3) 全国まちづくり会議 2008 北海道開催概要について
4) 開催内容等に関する意見交換

議事概要

1) 開会挨拶(NPO日本都市計画家協会 小林英嗣副会長・北海道支部長)

全まちは今年で4回目です。今まで3回続けて東京で開催し、毎回全国から1000人ほどが集まり情報交換をしてネットワークを広げています。開催後もメールや直接その地域に行きついでに知り合っている団体もあり、全く連携の無かったところに繋がりができる日本でも珍しいユニークな集まりです。

今年4回目をどのように開催するか議論した際に、北海道や九州など地方で開催すると違う役割や出会いが生じるのではという意見があり、東京と地方と交互に展開することに決めました。この形式が5年間続く予定です。

北海道支部は都市計画家協会で最初に設置された支部です。また今年には北海道でサミットがあるのでこれを草の根的にどのように考えるかというきっかけにもなるのではないかとということ、地方開催第一回は北海道になりました。

恵庭開催の根拠としては、実は28年程前に中島市長が中心になって「まちづくり研究会」通称まち研というのをつくっており、まち研の第一号は恵庭であるともいわれ、まちづくりというキーワードで恵庭でやることの意味があると感じたからです。

せっかくやるのであれば、連携して活動をしている方々と力をあわせて北海道の魅力を発信していくことができればと考え、本日皆様に応援団として来ていただいた次第です。

インパクトのある2日間になるように、あるいはその後続くであろうアクションが北海道の次の段階を動かしていければと思っています。よろしくお願いいたします。

2) ミニ講演会(恵庭市長 中島興世氏)

- ・恵庭のまちづくりとして今一番力を入れているのは読書コミュニティづくりです。
- ・最近おこなった、恵庭市内の3つの小学校の3年生を対象にした朝の読書アンケートの結果では、朝読書を行ったことで本が好きになったという回答が約98%という驚異的な結果を出している。
- ・これは乳幼児期から地域を巻き込んで戦略的体系的に取り組んできた読書コミュニティづくりの大きな成果。

- ・私は2000年4月に恵庭市立図書館館長に着任し「ベビーフレンドリーライブラリー」という言葉を掲げて、赤ちゃんに優しい図書館を目指す取り組みを始めた。
- ・ベビーカーの設置や赤ちゃん絵本コーナー・授乳コーナーづくりによって、赤ちゃんを連れてきてやすい環境を作った。若い母親や赤ちゃんが利用することによって図書館の雰囲気がやわらかく暖かいものになり結果的に図書館にも良い影響を与えた。
- ・この時期に、イギリスのブックスタートという取り組みに出会い、恵庭市立図書館でも2000年12月から絵本を乳児検診時にプレゼントすることを始めた。
- ・この取り組みによって絵本が家庭に入ることによって父親が子育てに関わるきっかけを作り出していたことが後の調査でわかった。
- ・絵本をプレゼントする会場では、ボランティアが赤ちゃんへの読み聞かせをする活動を始め、家で親が絵本の読み聞かせを行う動機づけになった。
- ・読み聞かせ活動を通じて子育て支援運動を広げようと「えにわゆりかご会」を作って赤ちゃんへの読み聞かせ活動を広め、今では恵庭で赤ちゃんへの読み聞かせが多数行われるようになった。
- ・「男性読み聞かせ隊」の活動では、60代～70代の男性と子ども達との交流が生まれている。
- ・中学生・高校生も読み聞かせに参加しており、小さい子どものかわいらしさに触れることで、彼らにとってもかけがえのない体験となっている。
- ・このようにして読み聞かせを地域社会の文化として広めようと取り組んでいる。
- ・行政の役割は、地域社会における公共的な問題を解決すること。図書館も同じで、地域社会と関連付けて自分達の役割を考えていくことが大切と感じた。
- ・昨年からもう一度家庭での読み聞かせの大切さについて意識を喚起しようと、1歳6ヶ月検診の時に6種類の絵本の中から親が選んだ絵本をプレゼントするというブックスタートプラスという取り組みを始めた。
- ・保育園や幼稚園、私立の幼稚園に対しても絵本購入の予算をつけて本を送り込むことを始めている。
- ・テレビやゲームなどの流動刺激文化の乳幼児期の言葉の発達にもたらす影響は深刻。小学校入学までに読書習慣を持った子どもを育てるために戦略的に取り組んでいきたい。
- ・恵庭市では、全ての小・中学校の図書館に司書を置いており、また学校図書の入替も多々行っている。特に小学校の図書館の資料はここ2年間でほぼ全てを入れ替える計画。
- ・最も大切なのは学校教師のモチベーションを高めること。モチベーションを高めるために、各小学校から3～4名の教師を選抜して山形県鶴岡市の朝陽第一小学校に視察に行ってもらった。
- ・朝陽第一小学校は、入学の翌日から毎日子ども達に本を借りさせ、これを2年間続けることで本を読むことを習慣づけている。生徒数は635人だが、不登校は0人、保健室登校も0人。読書によって国語の力がつき算数理科社会など他の学力もついてきている。何よりも図書館で過ごす子供達の様子に感動し、視察に行った教師たちのモチベーションは高まった。

- ・ 昨年の8月には、朝陽第一小学校で司書をしていた女性の講演会を恵庭で開き、この講演会に200人以上の教師が集まった。これにより全体のモチベーションがあがり、冒頭で紹介した「朝の読書アンケート」の子供達の回答が劇的に変化した。
- ・ ビジョンを共有し信頼と共感のアプローチを進めていくということこそが大切だったのだ。
- ・ 恵庭では学習に困難を抱えている子供のいる教室に特別支援教育の補助員をつけているが、読書が浸透しているので教室に落ち着きがあり、補助員を付けることの効果が高い。
- ・ 読書と学習に困難を抱えている子供達への支援を強化することで教育再生へのモデルを恵庭から作っていききたい。
- ・ 教育再生から国の再生、地域の再生への道を見出していくべきではないかと思う。
- ・ 恵庭の取り組みに外部の評価を得て、この試みを国の政策として行っていく道を開きたい。
- ・ 外部から評価してもらうことで学校教師に自信を与え、PTAにも学校に対する信頼を持ってもらうきっかけにしたい。そして教師と家庭と地域でこうした教育を支えていくような取り組みにしていきたい。

3) 全国まちづくり会議 2008 北海道開催概要について (資料2 参照)

4) 開催内容等に関する意見交換

全体について (山重)

- ・ まちづくりに取り組む全国の団体が活動を発表するためのパネル展示をしている。
- ・ テーマが共通した団体がグループを作って、コーディネーターが付き分科会を行う。
- ・ 全体テーマを決めてシンポジウムやミニフォーラムを行う。
- ・ 交流パーティもあり2日間にしては濃密なプログラムとなっている。
- ・ 今回は恵庭市のRBパークで、展示や分科会など交流行事は1階、シンポジウムなどは3階で行い、用途を2つに分けて開催する。
- ・ 都市計画家協会では5月中に開催概要およびプログラムを決め、最初の広報チラシを6月の初めには発行する予定。そこからが取り組みの本格的なスタートとなる。
- ・ このチラシで参加団体を募り、興味のあるテーマの分科会への参加について希望を聞く。
- ・ せっかくの北海道開催なので、北海道地域の物産や、他地域のまちづくり団体による特色ある商品を販売する見本市コーナーの企画も考えたい。
- ・ フリーセッションは、自分達の活動をPRしたり外に向けて発信する交流イベントをイメージしており、そのような団体や企画を募集したい。
- ・ 交流パーティはできるだけ地産地消を意識して行う。
- ・ まち研の元祖なので、夜なべ談義のアイデアもある。
- ・ アフターツアーについては、道外の方はシーニックルートを体験したいという希望が多い
- ・ 北海道宝島旅行社鈴木氏にも終わった後の2日間くらいで北海道の地域を体験してもらえるルートについてご協力いただきたい。
- ・ 今後、開催に向けて本部・支部のタスクフォースチームで活動していくが、広報面や、企画

の面でのご協力、あるいは地元の取り組みについて相談をさせていただくなど、個々に相談をさせていただきながら進めていきたい。

・支部全まち PT メーリングリストで、今後皆さんと情報を共有する。

(意見交換)

かとう：

恵庭はガーデンシティで有名だが、10月は花の時期は終わっている。迎える側としてのエントランスや参加者が一株ずつでもガーデニングを施すなど、全国まちづくり会議が地域の人になにか残す工夫があると恵庭でやった意義も加味されると考える。

山重：

家協会の中の美しいまちづくり研究会でも、10月は花が終わっているので、イベントと全国まちづくり会議を組み合わせて10月には花や緑に携わっている人たちが集まって成果報告をしたり、交流を持つ機会を作ろうと企画案を出している。この件に関してはかとうさんにもぜひ相談したい。また、泉谷さんには全体の中身が決まった段階から相談させていただくことが多くなると思う。

鈴木：

今年3回目が行われる北海道の地域づくり人会議のようなものがあり、様々な取り組みをしている人が集まるので、どこかリンクさせられたらと思う。主催者に確認する。

小林：

まもなく周防玄海支部が設置される予定。北海道と九州は近いものがある。その支部の関係者は必ず来てくれるといていたので、そちらへもメッセージを出して意識して欲しい。

山重：

今回地方開催は初めてで、これから全国で展開していく上でのプロトタイプになる。そういう意味でも地方で開催する意味を強く意識していきたい。東京でやる意味と地方でやることの意味の違いを来た人に明解に感じ取れるものにしたい。また恵庭から全国に向けて発信する事柄もいくつか仕込んでおきたい。全体としては地域性をかなり意識して運営していきたいと考えており、皆様からもいろいろなアイデアをいただきたい。